

# 大館の歴史散歩

食と生活を訪ねて

## 食文化とその周辺

この一年間、大館地方の食と生活についてみてきた。その年代は明治以降の近代に集中してしまっただが、これは資料の制限があつたこととご容赦願いたい。

大館地方の歴史は、現在のところ二万年ほどさかのほることが確認されている。この地に最初に人類が住みついたときから、食糧確保の生活、おそらくは生活のすべてがそのために費やされたであろう生活が、連続と繰り返されてきた。そうした長い時間の間に、食材や調理に工夫がなされ、現在大館地方に伝えられる食文化が築かれてきた。

近年の考古学研究では新発見が相次ぎ、「食」とその生活に関すること、特に縄文時代の食文化研究において大きな進展がみられるようになった。つい二十年ほど前までは、「縄文人は野山を駆け巡り、動植物を採取することによって食糧や生活物資を手に入れていた。すなわち自然に身をまかせる生活を余儀なくされていた」と考えられていたのである。

発掘調査の成果と研究によって、縄文時代には、例えばクリ林の管

理営農、雑穀や根菜類などの栽培農耕が行われていて、植物食糧をある程度安定的に確保し得ていたこと、禽獣の飼育もしていたのではないかとすることが考えられるようになってきた。また、魚介類のくん製や塩の生産を専業とする集団がいて、そこからの供給システムが確立していたであろうことも明らかにしつつある。縄文人の食生活は、私たちが考えている以上に豊かだったようである。縄文時代の主食が何であったのか、またそもそも主食が存在したのか、というような研究は、今後の課題であろう。

やがて大陸から米作りが伝えられる。米は、食文化ではむろんのこと、以後の日本の経済活動の礎となり、社会生活は米を基調に展開することになる。米は日本に根づいたその時から主食となり、おかず・副食文化の発展を促した。大館の食文化史上特筆すべきキリタンポ鍋やダマッコ鍋は、主食と副食が混在する特色ある食物として位置付けられる。

平成五年二月、奈良国立文化財研究所で「便所をめぐる考古学」

研究会が開催され、食文化に對置する文化としての便所研究が一躍進展した。食と排泄は人間生活の根幹をなし、切り離すことのできない問題である。しかし、これまでの諸学問、特に考古学・歴史学・民俗学・文化人類学では食の研究に重点が置かれ、排泄文化研究はまったく遅れていた。その研究に先鞭をつけたのが昭和六十二年の矢立廃寺発掘調査による便所とクソペラの発見である。これによって日本の便所研究は一気に加速した。

### 市役所史跡探訪会

## ちびっこギャラリー おとうさん



さわぐち おとうさん  
さきちゃん  
さきだけど、  
おとうさんが  
わたしひとり  
でねてるの



くろさわ ようじくん  
ガンダムとかのおもちゃ  
であそんでくれるんだ



やまおか はるかちゃん  
あせをかいとおしごとすき  
おとうさん、だいすき

### 大館幼稚園

## クイズ 広報 おおだてがヒント

- ▽問 題
- ① 大館市行政改革推進本部が設置されたのは何月何日?
  - ② 矢立ハイツのオープン予定日は?
  - ③ 消費者モニターの応募締め切り日は?
  - ④ 固定資産課税台帳を縦覧できるのはいつからいつまで?
  - ⑤ 便所をめぐる考古学研究集会は、5年2月にどこで開かれた?
- ▽応募方法  
はがきに住所、氏名、年齢、性別、答え(例①—②—)を書いてご応募ください。

- ▽締め切り  
3月24日(金) 当日消印有効
- ▽応募先  
〒017 大館市宇中城20番地  
広報おおだてクイズ係
- ※全問正解者の中から抽選で5人に、広報おおだてオリジナルのテレホンカード(秋田犬)を贈ります
- ▽2月16日号の答え  
① 30日 ② 4月 ③ 7時30分  
④ 25日 ⑤ 2月
- ▽2月16日号の当選者  
・佐藤初枝さん(水門町)  
・椿田悟史さん(中道2丁目)  
・加藤紗友美さん(豊町)  
・畠山珠紀さん(旭ヶ丘)  
・沢口陽一さん(花岡団地)
- ※応募総数70、全問正解者32